

豊中から世界へ! マリンフードの「燻製バター」がアメリカで表彰

マリンフード株式会社(豊中市)が、9月下旬にアメリカで行われた食品見本市「Florida Restaurant & Loading Show」に出展し、「ミルクを食べる乳酪 私の燻製バター」が表彰された。これは主催のジャーナリストが、出展した世界各国330社のなかから上位12社を選出したもの。今年で20回目のこの見本市は、年一億人が訪れる観光地フロリダで行われ、ホテル・レストラン、飲食産業などを対象とした展示会。同社はバターやチーズなどの乳製品を主力とした食品加工メーカーで、5年前に輸出部門を立ち上げ、アメリカでの販路拡大にあたって今回初出店し、初表彰となった。

通常、バターは熱すると溶けるため、



7g×8個入りは、店舗によるが300円ほど。同社のホームページからも購入できる。



おすすめの食べ方

焼いた食パンやホットケーキなどのほか、ステーキやラーメンなどに乗せてもおいしいという。また、醤油との相性も良いので、マグロなど和食にも。味噌汁の仕上げに入れると風味豊かになる。

燻製した商品を作るのは難しい。同社の営業担当者がニュージーランドの某レストランで、シェフが自店用に手作りする燻製バターを食べて感動。これをなんとか商品化できないかと、1年ほど試行錯誤し完成させた。その独特な手法は企業秘密とのことだが、さくらチップなどあらゆる燻製チップを試した結果バターとの相性がよく、より燻製の風味を感じられるりんごチップを採用した。同社は今後、アメリカを中心に海外での販売に注力していく方針だ。

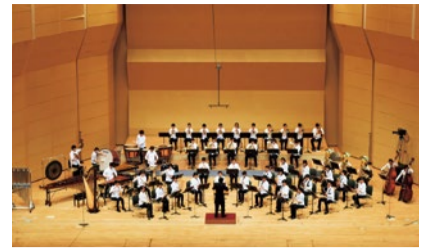
世界中にバターは幾多とあるが、燻製したものは世界的に見ても珍しく、日本での2015年4月以降の販売以上に、アメリカでの反響は大きかったそう。

吹奏楽コン 全国大会で銀賞 豊中第十一中学校

吹奏楽コンクールの全国大会が10月に名古屋で行われ、豊中市立第十一中学校の吹奏楽部が銀賞を獲得した。中学部門での出場は関西1033校のうち3校。同校は2010年の初出場から5回全国大会に進んでいる。全国大会出場校には小学校での吹奏楽の経験者が多く、同部では中学から始めた生徒ばかり。吹奏楽部でよくある体力トレーニングや厳しい上下関係はない。平日の個人練習の時間は1時間ほどで、朝練もない。顧問の下澤美咲先生によると、土日の合奏練習で指導はするが、個人練習は生徒たちの自主性に任せているという。「彼らは時間の使い方がうまい」。橋本裕行先生は子どもたちを「いち奏者」として信頼し、生徒たちはそれに応えようと、3



音楽室や廊下、空き教室でパートごとに分かれて個人練習。



部員約110名のうち全国の舞台上げられるのは50名。3年生30名はこの大会で実質的に引退した。

年生を中心に練習方法や問題点など話し合い、自分たちで解決していく。下級生は先輩たちの音に憧れながら、先輩たちが築いてきた全国大会への切符を死守することに緊張感とプライドをもって自主練習に励む。同部には、OB・OG楽団があり、コンクールや定期演奏会のたびに集まって、卒業しても繋がりは続いていくという。部室には、生徒やOBらから両先生に贈られた色紙や手紙、誕生日プレゼントの数々が並んでいた。橋本先生を軸にした信頼関係が、息の合った音を創り出す原動力だ。



左から、橋本先生、副部長・中川桐吾くん、部長・牧田優さん、副部長・田中万葉さん、下澤先生。部員同士や先生との仲は良いが、決して砕けすぎない。

箕面公園いいね! プロジェクト

箕面公園に関わるさまざまな人やその活動内容をご紹介します。

箕面の未来をアートで創造する!

—学生による、箕面の自然と触れ合い



箕面公園の未来を想像するきっかけに、夫婦橋休憩所に直径1800mmほどのUFO、宇宙人、こみち幼稚園園児が製作した「宇宙のいきもの」などを出現させました。



大阪成蹊大学芸術学部表現教育コースの大久保朱音さん

未来を身近に感じるワークショップ—

記事:大阪成蹊大学表現教育コースの学生たち

私たち大阪成蹊大学芸術学部表現教育コースの2年生(あそ美LAB)は、今年の春に箕面公園で自然の魅力を伝えるために箕面公園に集まる皆さんと一緒にアートイベントを企画、実施してきました。

夏のイベントでは、「夫婦橋休憩所近くにUFOが不時着し、3人の宇宙人が降り立つ」というストーリーを展開。イベントに参加した子供たちは、UFOと宇宙人が無事宇宙に帰れるよう、滝から流れる水を汲んでエネルギーを貯めてくれました。また、宇宙人の「ことば」を読み取ったり、宇宙の生き物を探したり、宇宙との行き来ができるようになる未来を想像しながらイベントを楽しんでいました。

秋(9月から11月)は昆虫館できらきら光っている運に恵まれる「虫のお守り」を作るワークショップを展開中。さらに12月には大阪大学の学生の皆さんとの協同によるワークショップ「落ち葉 二度目の晴れ舞台」を行います。

箕面に集まる皆さんと箕面の自然が私たち学生に多くの学びを与えてくれました。ありがとうございます!!

10/29「太陽の塔内部再生」 事業開始イベント

太陽の塔内部の耐震改修工事が開始するにあたり、10月29日(土)にイベントが行われた。非公開だった塔内部を一般公開したもので、約4万通の応募から500人が選ばれて参加した。耐震改修は、エレベーターやエスカレーターを撤去して階段にし、南海トラフのような大地震にも対応する計画だという。工事を終える2018年3月に塔内部を一般公開する予定。

なお、この事業は寄附金を募っており、



(左)一部撤去された塔の内部「生命の樹」。当時を知る参加者からは「懐かしいね」「すごい迫力だったよね」という声も。(右)「塔の内部は上に行くほど進化した生物になっていて、自分の足元を見てみる、という岡本太郎からのメッセージ。再生後をお楽しみに」と岡本太郎記念館館長・平野暁臣氏。

ふるさと納税制度が活用できる。詳しくはホームページ(<http://www.citydo.com/furusato/official/osaka/expo>)を。

イベントのお知らせ

いずれも問合せ・申込 072-721-3014(箕面公園管理事務所)

○『アートによる新たな風景の創出』

リニューアルされた夫婦橋休憩所周辺で期間中、学生たちによる様々なアートでの取り組みを開催!

- Vol.2 11月27日(日)~12月11日(日) 草月流いけばなインсталレーション「まぢやま×いけばな」
- Vol.3 12月3日(土)雨天時4日(日)順延 ワークショップ「紅葉、二度目の晴れ舞台」

●関連企画 12月7日(水)16時~17時30分 「阪大箕面公園公開ゼミ

—協働と参画 箕面公園の使われ方、使い方—
会場:梅屋敷(箕面公園内) 一般参加可(無料)

○ひと汗かこう!滝道落葉清掃day

滝道の落葉清掃 0.5dayボランティア募集中

日時:12月8日(木)10:00~12:00

集合:箕面公園昆虫館前10:00 募集:20名

*車手を持参ください。清掃用具は公園事務所用意します
協力:ナルクみのお

○自然観察会 12月

—落葉の下の生きもの探索&昆虫館くまの館長のお話—

野外で落葉の下の虫たちを観察したあとは、昆虫館へ!

日時:12月11日(日)11:00~12:30 雨天中止

集合:箕面公園昆虫館前

参加費:子ども(中学生以下)100円/おとな200円

定員:30名(要事前申込) *小学生以下は保護者同伴

○自然工作

「自然素材でつくるクリスマス飾り」

自分だけのオリジナル飾りでクリスマスをむかえませんか?

日時:12月18日(日)11:00~15:00

会場:梅屋敷(箕面公園内)

参加費:200円

*特に事前申込は必要ありません。
*材料なくなり次第終了があります



飲酒運転の撲滅

協力:大阪府警察

大阪府下の飲酒運転による交通事故発生状況等(平成28年9月末)

交通事故発生件数 148件(前年比+18件) | 交通事故死者数 9人(前年比+2人) | 飲酒運転取締件数 1,020件(前年比+26件)

※飲酒運転による事故とは、原付以上の第1当事者による飲酒運転(酒酔い、酒気帯び【呼気1リットルにつき0.15ミリグラム以上のアルコールを身体に保有】、基準以下及び検知不能)事故のこと。

年末は飲酒運転による事故が多発する傾向にあります。年末年始は忘年会・新年会など飲酒する機会が増えると思いますが、飲酒運転は運転者だけでなく、同乗者なども罰則の対象になります。飲酒運転は犯罪です。自動車やバイクで仲間や飲食店などへ行く場合は、お酒を飲まない人

(ハンドルキーパー)を決め、その人が仲間を自宅まで送り届けるという「ハンドルキーパー運動」の呼び掛けや、運転代行サービスを利用するなど、「飲酒運転をしない、させない、許さない」ことを徹底しましょう。

飲酒運転の罰則

酒酔いの場合

…5年以下の懲役又は100万円以下の罰金

酒気帯びの場合

…3年以下の懲役又は50万円以下の罰金

飲酒運転者以外の罰則

●車両提供

運転者が酒酔いの場合

…5年以下の懲役又は100万円以下の罰金

運転者が酒気帯びの場合

…3年以下の懲役又は50万円以下の罰金

●酒類提供又は車両同乗

運転者が酒酔いの場合

…3年以下の懲役又は50万円以下の罰金

運転者が酒気帯びの場合

…2年以下の懲役又は30万円以下の罰金

